

1. 当事務及び事業に関する基本情報			
Ⅱ－2	Ⅱ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 2. 調達等の合理化		
当該項目の重要度、難易度	－	関連する政策評価・行政事業レビュー	令和4年度行政事業レビュー番号 0156

2. 主要な経年データ									
	評価対象となる指標	達成目標	基準値 (前中期目標期間最終年度値等)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(参考情報) 当該年度までの累積値等、必要な情報
	なし								

3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価				
中期目標、中期計画、年度計画				
主な評価指標等	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価	
	業務実績	自己評価	評価	B
	<主要な業務実績> 「独立行政法人における調達等合理化の取組の推進について」（平成27年5月25日総務大臣決定）に基づき、「調達等合理化計画」を策定し、計画に基づく取組を以下のとおり着実に実施するとともに、令和3年度の計画や令和2年度の自己評価結果をウェブサイト公表した。 - 規定より公告期間を長く設け、また可能なものは契約時期を早めた。業者が公告内容を容易に閲覧・理解できるようにし、聴き取り調査を行って改善に努めた。また、参加資格についても過度の制約とならないよう努めた。 - 発注・契約権限と検収の取扱いの適正性、随意契約の理由や金額の妥当性等について法人内部チェックとして監査室の点検を受けた。 - 令和3年7月26日に、各課室の調達担当者等を対象に契約手続業務の知識の向上並びに情報共有を目的とした研修会を開催し、全課室より31人の参加があった。 - 基準額未満の案件でも技術的要素にかんがみて総合評価落札方式を実施した。	<評価と根拠> 評価：B 年度計画のとおり、調達等合理化計画を策定し、計画に基づく取組を着実に実施した。 契約監視委員会において、調達等合理化計画に基づく取組が実施されていること、また、個々の契約案件について、手続が適正であることを確認した。 以上のことから年度計画における所期の目標を達成したと判断し、Bとした。 <課題と対応> 特記すべき課題は検出していない。	<評価に至った理由> 中期計画に定められたとおり、概ね着実に業務が実施されたと認められるため。自己評価書の「B」との評価結果が妥当であると確認できた。 <今後の課題> － <その他事項> －	

		○令和３年度契約状況及び一者応札・応募状況の前年度比較			
		令和２年度		令和３年度	
		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
契約 状況	競争性のある 契約	43	447, 248	44	520, 495
	競争入札 等	40	401, 532	42	498, 275
	企画競争、 公募	3	45, 716	2	22, 220
	競争性のない 随意契約	7	22, 642	5	12, 001
	合計	50	469, 890	49	532, 497
一者 応札 ・ 応募 状況	２者以上	26	230, 216	19	170, 188
	１者以下	17	217, 032	25	350, 308
	合計	43	447, 248	44	520, 495
※令和３年度に１者応札の約 64%がシステムの保守・改修等に占められている。新規参入には環境整備コストがかかり、自社の利益が見込めないことや、業界全体が人手不足で履行体制が整わないとの理由で入札を取りやめた業者が多かったことが１者応札の増となった主な要因である。					
監事及び外部有識者からなる契約監視委員会を開催し、令和３年度調達等合理化計画の策定及び令和２年度調達等合理化計画の自己評価の点検を行うとともに、随意契約、一者応札・応募を中心に点検を行い、審議概要をウェブサイト公開した。					

4．その他参考情報
特になし